

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成26年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立飯田野球場	所管課	スポーツ健康課
所在地	甲府市飯田5-11-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成14年4月1日
管理方式	指定管理者(株式会社富士グリーンテック、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立飯田野球場設置及び管理条例		
設置目的	野球の振興を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与するため。		
主な施設内容 (定員等)	面積:14,973m ² (グラウンド・駐車場・事務室) 左翼88m、中堅104m、右翼91m、内野:クレール舗装、外野:天然芝 スコアボード:パネル式、照明なし		
主な業務内容	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 その他教育委員会が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	山日YBS球場(野球場)、緑が丘スポーツ公園(野球場)、富士北麓公園(野球場)、都留市総合運動公園(野球場)、韮崎市営総合運動場(グラウンド)、南アルプスジツスタジアム(野球場)
---------------------	---

3 利用状況

単位:人、%

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (目標値)
利用者数	野球場	22,887	24,584	24,781	25,000
	自主事業	0	0	96	-
	利用者数合計	22,887	24,584	24,877	25,000
	目標値	18,000	22,000	23,000	25,000
	目標値設定の考え方及びその理由	中央高等学校の建替え工事に伴い駐車場の確保が難しくなったため、利用人数の多い学童の試合開催が減になる事が予想される。そのため、昨年度実績を大幅に下回る利用者数を目標とした。	平成24年度実績から利用人数の多い学童の試合開催が減になったが、グラウンドゴルフでの利用が想定以上に増えて十分な人員が確保できたので、昨年度実績並の利用者数を目標とした。	施設の稼働率などの利用状況と、グラウンドコンディションの維持を考慮し、前年度目標値より1,000人増の目標値とした。	施設の稼働率などの利用状況を考慮し、平成25,26年度の実績値を基準に同数を上回る数値を目標値とした。
	対24年度比	100.0%	107.4%	108.7%	109.2%
稼働率					

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成25年度	平成26年度 (計画値)	平成26年度 (実績値)	平成27年度 (計画値)
収 入	施設利用料	679,370	514,000	780,355	524,000
	指定管理者委託料	7,580,000	7,505,000	7,505,000	7,503,000
	その他	0	150,000	130,694	150,000
	収入合計(A)	8,259,370	8,169,000	8,416,049	8,177,000
支 出	人件費	6,127,282	5,676,000	5,744,041	5,676,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	1,936,504	2,493,000	2,427,844	2,501,000
	うち外部委託費(B)	479,178	1,543,000	835,834	1,543,000
	支出合計(C)	8,063,786	8,169,000	8,171,885	8,177,000
収支差額(A-C)		195,584	0	244,164	0
外部委託比率(B÷C)		5.9%	18.9%	10.2%	18.9%
利用者一人当たりの経費		308.3	326.3	301.7	300.1

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成26年8月、9月 実施方法：施設利用者へのアンケート 回答数：108人
-------	--

単位：%

調査項目	満足	やや満足	やや不満	不満
設備の充実度	73.1%	26.9%	0.0%	0.0%
整備の充実度	72.2%	26.9%	0.9%	0.0%
予約・手続き	81.5%	18.5%	0.0%	0.0%
利用料金	78.7%	19.4%	1.9%	0.0%
職員の対応、サービス	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%

調査項目	満足	やや満足	やや不満	不満
施設全般の満足度	79.4%	20.0%	0.6%	0.0%

利用者の意見	・グラウンドはよく管理整備されているが、駐車場が狭い。 ・スコアボード、バックスクリーン、フェンス、観覧席の老朽化。
利用者の意見への対応	・グラウンドは直営による順応型管理を継続。駐車場については、隣接する施設への開放を行うなどして対応している。 ・球場各施設については、大規模改修等の要望を行う。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	本業である緑地維持管理は直営で行い、きめ細やかな目線と順応型管理により、レベルの高いグラウンドクオリティが確保できていると確信しています。	施設の維持管理について、事業報告書や現地確認の結果、適正に執行されている。引き続き、利用者の安全確保に努め、業務計画書に基づき適正に業務を行うこと。
運営業務	管理棟に利用者窓口対応を常設し、ホームページ上でも利用案内や対応ができるよう、サービスの提供を心掛けています。また利用者集合時間に合わせた早朝開場等、柔軟な対応で接しています。	施設運営については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。引き続き、利用者の拡大に繋がるような取り組みを行うとともに適正な業務を行うこと。
自主事業	球場の多目的利用で始めた地域貢献型事業であるグラウンドゴルフ大会も今年で9回を数え、地域イベントの一環と位置付けできるようになりました。	業務計画どおりに事業が行われたことを確認した。引き続き、利用者ニーズの把握に努め、県民サービスの向上に努めること。
利用状況	12月～3月のシーズンオフ期間にグラウンドゴルフ利用を啓発推進して、公共施設の有効利用を促しています。その結果、徐々に冬期利用度が増してきています。	グラウンドゴルフの利用促進により、通年で安定した利用者数が確保されてきている。引き続き、必要な整備は修繕等を行う中で、利用者サービスの向上などに努め、利用促進に努めること。
収支状況	利用者の増加により施設使用料は僅かながら増加しました。支出については、前年は大雪の影響により冬季整備の費用が少なかったが、今年度は例年並みの経費となったため、管理費用が増額となりました。	光熱水費は削減されたものの、外部委託の増などにより、管理経費が増えている。引き続き、一層経費削減を図りながら、利用者サービスの向上に努めること。
利用者満足度	満足・ほぼ満足が99.4%というありがたい結果となりました。これは利用者要望に基づき、毎年少しずつ修繕や改修を行い、利用者目線で心地よい施設環境を整えて管理している結果だと思っております。	日々、丁寧なグラウンド整備、芝生管理を行うことにより、利用者から高い評価を得られている。引き続き、利用者ニーズを把握し、利用者満足度の向上に努めること。
運営目標の達成状況	施設の多目的利用やサービスの提供により、利用者数目標23,000人に対し、実績数は24,877人となり、目標達成率108.2%と目標を達成できた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	利用者アンケートでは高い評価を得ており、適切な維持管理、利用者対応がなされている。また、シーズンオフ及び平日のグラウンドゴルフの利用啓発により、安定した利用者数の確保に繋がっている。今後も適切な施設管理、利用者の満足度の更なる向上を目指していただきたい。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	本業の専門性を活かしながら利用者目線による運営管理を行い、順応的かつ柔軟な発想で利用者対応に心掛けていきます。施設老朽化による改善等は、大規模修繕要望や応急的対応を行いながら、施設の長寿命化を目標としていきます。	

7 管理体制(組織図)

平成26年4月1日現在

